



が響き合うまち

白 河

SHIRAKAWA

白河市の概要
(携帯版)



白河市の概要（携帯版）

（令和6年9月発行）

● ● ● 目 次 ● ● ●

概要.....	3
主要な道路・交通網	4
白河市の歴史.....	5
名所史跡・観光地.....	6
国指定文化財.....	9
年中行事.....	9
施設.....	11
名産.....	13
市公認キャラクター	13
国際交流.....	14
都市交流.....	14
本市出身の著名人.....	14
しらかわ大使.....	15
市民歌.....	15
気象状況.....	16
地目別面積.....	16
人口・世帯.....	17
一般会計歳入歳出予算（令和6年度当初）	19
商工.....	21
企業誘致.....	22
農政.....	23
住宅.....	23
市道.....	23
都市計画.....	23
教育.....	25
水道.....	27
下水道.....	27

※本書内の掲載基準日が未掲載の内容は、令和6年4月時点のものです。

概 要 ●●●●

本市は、那須連峰を望む福島県の南部中央に位置し、阿武隈川に沿って東西に市街地が広がっています。高燥・冷涼・清涼な高原性の気候で、四季を通して暮らしやすい風土を有しています。

位 置 北緯37度07分35秒
(市役所) 東経140度12分39秒
標 高 360.50m
面 積 305.32km²

市 の 花 ウメ
白河城主であり、名君松平定信^{まつだいらさだのぶ}を輩出した久松松平家の梅鉢の家紋にちなみ、花は早春葉に先だって開き実を結びます。

市 の 木 アカマツ
白河の象徴である南湖公園周辺に植生しているほか、市内全域にも見られます。

市 の 鳥 ウグイス
白河地方に比較的多く生息し、春には美声で優雅に鳴きます。

市 章 白河市の「白」を図案化し、中心のだ円は輝き集う市民の活力を、外側のだ円の濃い青は豊かな大地と清らかな水を、淡い青はさわやかな青い空を、上部はこれまで育まれてきた歴史と文化を表し、全体の右上がりのデザインは、これらが調和し「白河市」が未来へ向け限りなく躍進していくことを表しています。

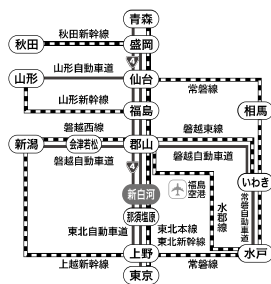
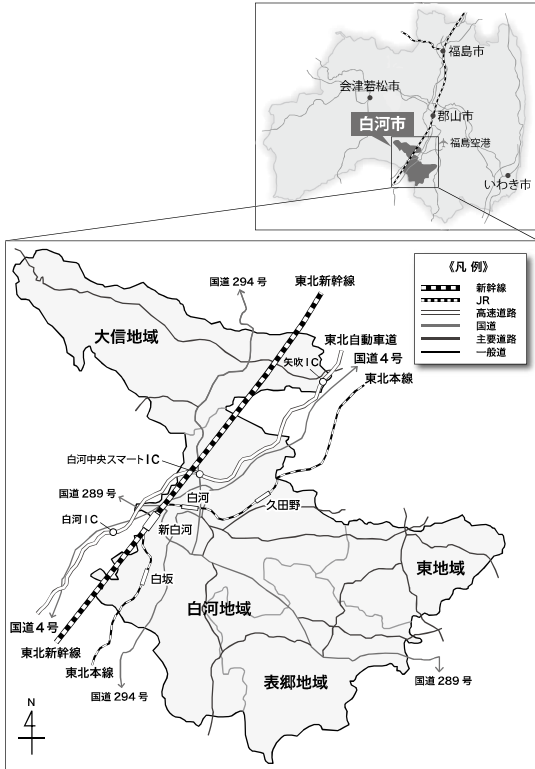


(平成17年11月7日制定)

特 別 職 市 長 鈴木 和夫
副市長 井上 賢二
教育長 芳賀 祐司
正副議長 議 長 石名 国光 (令和6年6月13日～)
副議長 佐川 京子

市議会議員数 24人
市職員数 545人

主要な道路・交通網



■交通

東北新幹線

東京～新白河 最速1時間9分

仙台～新白河 最速47分

東北自動車道

浦和IC～白河中央スマートIC
1時間45分

仙台南IC～白河中央スマートIC
1時間35分

飛行機

大阪～福島… 1 時間10分

札幌～福島… 1時間30分

(福島空港～白河市街 車で約30分)

白河市の歴史 ●●●

「白河」の地名は、古くは奈良時代の文献で確認できます。大化改新以後、白河は陸奥国白河郡の中枢が置かれ、陸奥国と下野国の境には「白河関」が設置されました。これ以後、白河は奥州の関門として歴史的役割を担うことになります。

鎌倉時代、源頼朝のもとで活躍した結城朝光に白河荘が与えられ、以後約400年にわたって白河結城氏が中世の白河を治めました。なかでも、南北朝時代に活躍した結城宗弘は、奥州南朝方を代表する武将でした。なお、結城氏の本拠は搦目の「白川城」でしたが、14世紀半ばに新たに宗広の子・親朝が「小峰城」を築いたと伝わります。

白河結城氏は豊臣秀吉による奥羽仕置で領地を失い、白河は会津領になります。蒲生秀行が領主の時代には、小峰城や城下の整備が行われたと考えられています。

江戸時代の初め、初代白河藩主となった丹羽長重は、小峰城の大改修や城下の整備を行い、現在につながる市街地の基礎を築いています。白河藩は、丹羽家の後に榊原・本多・松平（奥平）・松平（結城）・松平（久松）・阿部と7家21代にわたる藩主の変遷がありました。なかでも松平定信は、老中首座として「寛政の改革」を行い、藩内においても「白河関跡」の場所の考証や「南湖」の築造など、大きな業績を残しています。

なお、表郷地域・東地域および大信地域の一部は、江戸時代中期以降、越後高田藩領となっていました。

慶応2年（1866）の阿部家の棚倉移封により、白河は幕府領となります。同4年（1868）の戊辰戦争白河口の戦いで、小峰城は主要な建物を焼失して落城しました。

明治維新後、版籍奉還に伴い、白河は明治2年（1869）に白河県、同4年（1871）以降は白河県と合併した二本松県（のち福島県と改称）に含まれました。同12年（1879）に西白河郡が置かれ、同22年（1889）に白河町制を敷きました。昭和24年（1949）には白河町、大沼村が合併して白河市制を施行しました。

平成17年（2005）には、いわゆる「平成の大合併」により白河市・表郷村・大信村・東村が合併し、新しい「白河市」が誕生しました（市制施行 平成17年11月7日）。

名所史跡・観光地 ●●●

◎白河関跡



白河関は、奈良・平安時代に存在した陸奥国と下野国の国境に設けられた関で、通行人や物資の往来を取り締まる機能を持っていたと考えられています。律令制の衰退とともに、関の機能は失われましたが、その後は歌枕として文学の世界で多くの古歌に詠まれています。

関の場所は長らく不明となっていました。寛政12年（1800）に白河藩主松平定信が考証して、この地が古代の白河関であると断定し「古関蹟」の碑を建てました。

◎南湖公園



南湖公園は、享和元年（1801）に白河藩主松平定信によって「士民共楽（武士も庶民も共に楽しむ）」の理念に基づき築造されました。湖は、かんがい用水、困窮者救済、舟術・水術の鍛練などの機能を持ち合わせていました。

湖水面積は約17.7haあり、湖畔には松・桜・紅葉などが植えられています。園内には定信をまつた南湖神社をはじめ、日本庭園翠楽苑、茶室 共楽亭などがあります。

◎小峰城跡



小峰城は、14世紀中頃に結城親朝によって築かれたのが始まりとされます。

寛永4年（1627）の白河藩成立後、初代藩主丹羽長重は、約4年の歳月をかけて城郭を大改修し、梯郭式の平山城を築きました。戊辰戦争白河口の戦いで城郭の主要部が焼失しましたが、平成3年（1991）に三重櫓、同6年（1994）に前御門が江戸時代の絵図や発掘調査に基づき木造で復元されました。

また、東日本大震災で崩壊した石垣は、江戸時代以来の伝統工法に基づき、同31年（2019）3月に修復が完了しました。

◎^{さかい}境の明神



境の明神は、福島県と栃木県の県境に並ぶ2つの神社の通称です。陸奥側（白河市）には玉津島明神、下野側（栃木県那須町）には住吉明神がまつられています。古来より国境を往来する際には両神社を参拝し、道中の安全を祈願したといわれています。
松尾芭蕉の奥の細道俳諧紀行で、みちのくの第一歩を記した場所として、句碑や歌碑が建立されています。

◎^{かしま}鹿嶋神社



宝亀年間（770～780）にまつられ、弘仁2年（811）坂上田村麻呂が東夷征伐の際、改めて常陸国鹿嶋大明神を勧請した神社と伝わり、古来より白河地方の総鎮守として、歴代城主をはじめ人々の尊崇を集めてきました。文明13年（1481）に白河の領主・結城政朝が神前で一日一万句の連歌興行を催したという記録が残っています。歌枕にある転漚の森は、当神社の飛地境内です。

◎白河ハリストス正教会



明治11年（1878）に発足したギリシャ正教の教会です。
現在の聖堂は、正八角形のドームと白い壁が特徴で、大正4年（1915）に建立されました。

聖堂内には、日本人最初のイコン画家として知られる、山下りんのイコンが残されています。

◎^{かんちゅうめい}感忠銘



南朝の後醍醐天皇に忠義を尽くした結城宗広・親光父子を後世に伝えるために刻まれた、高さ7.6m・幅2.7mの日本有数の大きさの磨崖碑です。

題字の「感忠銘」の三文字は、白河藩主松平定信の筆によるものです。

に わ ながしげひょう
◎丹羽長重廟



ほうきょういんとう

初代白河藩主丹羽長重の墓所の拝殿で、白河藩大名墓所（円明寺）の中にあります。現在の建物は、長重の二百年忌である天保7年（1836）に建立されました。後方には、長重の墓である宝篋印塔が立っています。

お ほんしょうすけ
◎小原庄助の墓

会津磐梯山の唄で有名な小原庄助のものと伝えられる墓があります。大の酒好きで、辞世の句は「朝によし 昼になほよし 晩によし 飯前飯後 その間もよし」とされています。徳利と盃の形をした墓石には「米汁吞了信土」と戒名が刻まれています。

ひじり が いわ
◎聖ヶ岩



本市最高峰の権太倉山（976m）の麓にある巨石で、源義経が奥州平泉に向かう途中に名付けたと伝えられています。

おとめざくら
◎乙姫桜



伊達政宗が桜の苗木を将軍家に献上する途中、その1本を植えたといわれる、樹齢400年の紅しだれ桜です。

濃いピンク色の濃艶な桜のため「乙姫桜」と呼ばれています。

◎ビャッコイ



カヤツリ草科の新種として明治38年（1905）に発表され、国内で唯一、表郷金山に自生しています。命名される際、採取地が会津と誤解され、白虎隊にちなんだ名前となりました。

◎しらかわ観光ステーション

JR白河駅に隣接する観光情報の発信拠点です。自分好みのラーメンを検索できる「白河ラーメンデータベース」を設置しています。

国指定文化財 ●●●

指定別	名 称	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
史跡および名勝	南湖公園	南湖ほか	白河市ほか	大正13年12月9日 昭和59年6月18日 (追加) 平成21年2月12日 (追加) 平成27年10月7日 (追加)
史跡	白河関跡	旗宿関ノ森ほか	白河神社、白河市ほか	昭和41年9月12日
史跡	白河舟田・本沼遺跡群 (下総塚古墳、舟田中道遺跡、台地久保古墳、野地久保古墳)	舟田中道、本沼岩井戸・本沼野地久保	白河市ほか	平成17年7月14日 平成22年8月5日 (追加)
史跡	白河官衙遺跡群 (借宿鹿寺跡)	借宿株木	白河市ほか	昭和59年7月21日 平成22年8月5日 (追加・名称変更) 令和6年2月21日 (追加)
史跡	小峰城跡	郭内	白河市ほか	平成22年8月5日 平成24年9月19日 (追加) 平成26年3月18日 (追加) 令和3年3月26日 (追加)
史跡	白川城跡	藤沢ほか	白河市ほか	平成28年10月3日
史跡	天王山遺跡	大岩倉ほか	白河市ほか	令和3年10月11日
重要文化財 (古文書)	白河結城家文書九十通	郭内	白河市	平成8年6月27日

年中行事 ●●●

▶白河だるま市〔2月11日〕



江戸時代から続く市で、目抜き通りに「白河だるま」を売る店など約500軒の露店が並びます。県内外から福を求める多くの買い物客でにぎわい、春の訪れを告げる行事でもあります。

▶安珍歌念仏踊〔3月27日〕



「安珍・清姫伝説」に登場する修行僧・安珍（根田生まれと伝えられる）の供養のため「安珍堂」で踊ります。県の重要無形民俗文化財に指定されている「奥州白河歌念仏踊」の1つです。

▶関山山開き〔3月下旬〕

▶天狗の花まつり（表郷天狗山）〔4月～5月〕

▶かたくり祭り（白河関の森公園）〔4月上旬〕

▶白河桜まつり【4月中旬】

▶権太倉山山開き【4月下旬】

標高976m、市内最高峰の山開きです。

▶関辺のさんじもさ踊【7月上旬】



八幡神社境内で、五穀豊穡を祈り、太鼓に合わせて踊ります。「さんじもさ」は「山神さまよ」がなまったものと言われています。県の重要無形民俗文化財に指定されています。

▶十日市の提灯まつり【7月下旬】

約7mの竹の先に提灯を灯し、笛や太鼓の音に合わせて子どもたちが練り歩く、約300年の伝統があると伝わる祭りです。

▶白河関まつり【8月上旬】



夏の風物詩で、白河駅前の小峰通りを中心に「白河関の踊り流し」などが行われます。夜には、美しく照らし出された小峰城とともに眺められる、市民納涼花火大会が開催されます。

▶しらかわ盆踊り大会【8月上旬】

▶釜子納涼盆踊り【8月14日～16日】

明治時代から受け継がれている東釜子地区の伝統行事で、最終日には仮装大会が行われます。最後は「はねっこ踊り」という独特の踊りで盛り上がります。

▶ふるさと川まつりin白河たいしん【8月下旬】

▶白河提灯まつり【9月中旬／隔年】



白河地方の総鎮守として古くから人々に尊崇されてきた鹿嶋神社の例大祭です。350年以上の歴史と伝統を誇り、神輿の町内渡御や提灯行列、山車の引き回しなどが行われます。提灯が城下を照らす神秘的な情景は必見です。

▶しらかわ郷里マラソン [11月上旬]



小学生から大人まで幅広い年代のランナーが東風の台運動公園の周辺を駆け抜けます。長距離ランナーの発掘とスポーツ振興を目的に、平成14年（2002）から開催されています。

▶サンライズひがしフェスティバル [11月上旬]

名物イベントの「五合飯早食い大会」を始め、さまざまなステージショーや飲食ブースが楽しめます。

▶ふるさと白河表郷まつり [11月上旬]

▶しらかわ音楽の祭典 [11月上旬]



市内小・中・高校および一般団体による合唱・合奏の発表が行われます。

白河市コミネス交響楽団も参加し、本市の音楽文化の振興と世代間の交流、音楽に関する表現と鑑賞の場となっています。

施設 ●●●

◎白河文化交流館「コミネス」



本市の文化発信拠点として、平成28年（2016）に開館しました。鶴が飛び立つ様子を表現した緞帳は、本市出身の日本画家・今井珠泉画伯（1930-2023）により描かれたものです。

①概要

規 模 地上4階、地下1階

面 積 建築面積／6143.15㎡、延床面積／9783.29㎡

席 数 大ホール／1,104席、小ホール／321席

②利用状況

（令和5年度）

	大ホール	小ホール	練習室等	合計
利用回数（回）	215	203	633	1,051
利用者（人）	37,598	12,552	2,813	52,963

◎市立図書館「りぶらん」



さまざまなジャンルの本のほか、雑誌や新聞、絵画、郷土資料、CD・DVDなども所蔵しています。

1日あたりの入館者数は約840人、貸出図書資料数は約1,960冊と、多くの方に利用されています。

①蔵書数（令和6年3月現在） 321,997冊

②利用状況

（令和5年度）

入館者数	貸出冊数	貸出利用者数
239,077人	559,158冊	93,759人

◎中山義秀記念文学館

大信出身の芥川賞作家・中山義秀（1900-1969）の文学的業績を後世に伝えるため、平成5年（1993）に開館しました。

開館を記念し創設された「中山義秀文学賞」は、歴史・時代小説を対象とした全国レベルの文学賞です。

◎小峰城歴史館



大人から子どもまで、楽しみながら小峰城を学べる施設です。

パネルやジオラマ、モニター映像などで小峰城の歴史を解説しているほか、小峰城の四季などを3DCGで楽しめるVR望遠鏡、CGで復元した江戸時代の小峰城の映像を270度の三面スクリーンで映写するVRシアターがあります。

◎アナビススポーツプラザ



震災復興のためにカタール国首長が創設した「カタールフレンド基金」の支援を受け、市総合運動公園内に建設されました。フットサルコートやキッズルームを備えた体育施設です。

◎きつねうち温泉

東風の台運動公園の一角にある温泉施設です。泉質はアルカリ性単純温泉で、美肌の湯として知られています。

名産 ●●●●

◎白河だるま



白河藩主松平定信のお抱え絵師・谷文晁が手本を描いたとされ、顔にはまゆに鶴、ひげに亀、耳びんに松と梅、あごひげに松と竹があしらわれ、大変縁起のよいだるまです。

◎白河ラーメン



心地よい歯ごたえの手打ち縮れ麺と、コクがありながらもさっぱりとしたしょう油味のスープが特徴です。

本市は全国有数のラーメン処で、市内には数多くの店があります。

◎白河そば



本市のそばの歴史は、松平定信が冷害に強いそばの栽培を奨励したことから始まります。盛岡・信州・出雲とともに日本四大そば処の1つとされています。

市公認キャラクター ●●●●



ダルライザー

転んでも起き上がるだるまがモチーフ。平成29年(2017)制作の映画は、国際映画祭特別賞を受賞。



小峰シロ

小峰城(桜花)・南湖公園(鏡花)・白河の関(葉花)に変身する、萌えキャラ初の変身ヒロイン。



しらかわん

特徴的な眉毛は、白河だるまの「鶴」の眉がモチーフ。胸元には市の花「梅」が描かれています。

国際交流 ●●●

◆フランス共和国オワーズ県コンピエーニュ市

提携調印 昭和63年（1988）10月20日

位 置 パリの北東約80km

◆アメリカ合衆国ミネソタ州アノーカ市

提携調印 平成14年（2002）10月13日

位 置 ミネアポリスの北約35km

都市交流 ●●●

◇三重県桑名市・埼玉県行田市

文政6年（1823）に白河藩主が桑名藩主へ、桑名藩主が忍藩主（行田市）へ、忍藩主が白河藩主へという三方領知替が行われました。この歴史的縁により教育・文化・経済各般にわたる交流への機運が高まり、平成10年（1998）11月9日に白河市・桑名市・行田市の友好都市調印が行われました。

◇埼玉県戸田市

平成5年（1993）、農林省の「都市と農村の交流事業」を契機に旧大信村と交流が始まり、平成5年（1993）4月25日に姉妹都市を締結しました。合併後の平成19年（2007）1月20日に友好都市調印が行われました。



▲六華苑（桑名市）



▲忍城（行田市）



▲戸田漕艇場（戸田市）

本市出身の著名人 ●●●

鈴木 文助 氏（生物学者）

大谷 五花村 氏（川柳作家）

関根 正二 氏（洋画家）

中山 義秀 氏（小説家）

岩淵 悦太郎 氏（国語学者）

今井 珠泉 氏（日本画家）

班目 秀雄 氏（競輪選手）

班目 真紀夫 氏

（自転車競技選手）

伏見 俊昭 氏（競輪選手）

藤田 敦史 氏（陸上競技選手）

遠藤 純 氏（サッカー選手）

しらかわ大使 ●●●

田口 信太郎 氏

(元 ㈱東邦銀行 取締役、元 NHK福島放送局長)

戸井田 和彦 氏

(三井金属鉱業㈱ 取締役会議長)

野崎 洋光 氏

(和食料理人)

川瀬 七緒 氏

(第57回江戸川乱歩賞受賞作家)

矢崎 潤子 氏

(㈱オフィス ノベント 会長、(一社) ニワトコ 代表理事)

市民歌 ●●●

「このまちがすき」

作 詞

補作詞／作曲

飯泉雅之
あおしまひろし
青島広志

このまちがすき 生まれたまちだから
思い出してほしい 澄みきった南湖の水面を
みんなで楽しむ笑顔で あふれている
振り返ってほしい 赤松に抱かれた公園を
守り育てた木立が 息づいている
このまちがすき 自然を愛する心があるから

このまちがすき 住んでるまちだから
踏みしめてほしい 旅人が歩いた関所を
力強く踏み固めた 足跡がある
確かめてほしい 梅の香りのふるさとを
営みとふれあい 充ち満ちている
このまちがすき 人を思いやる気持ちがあるから

このまちがすき 生きてくまちだから
訪れてほしい お城の壮大な石垣
汗と涙に刻まれた 歴史がある
覚えていてほしい 人が行き交うまち並みを
みんなで築く未来が すぐそこにある
このまちがすき 人が暮らしてる息吹があるから

(市制施行5周年記念)

気象状況 ● ● ●

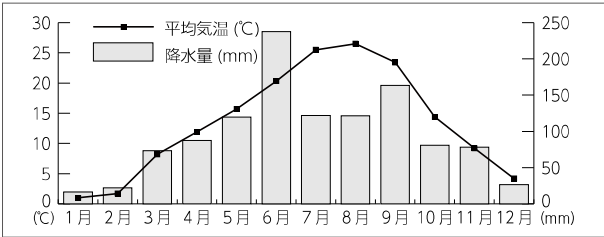
気象庁ホームページより

区分 \ 年次	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
最高気温 (℃)	35.0	35.5	34.9	35.5	34.9
最低気温 (℃)	-7.2	-6.3	-9.9	-7.4	-9.4
平均気温 (℃)	12.5	12.7	12.4	12.4	13.5
年降水量 (mm)	1995.5	1255.0	1504.5	1227.5	1149.0
最深積雪 (cm)	10.0	14.0	15.0	11.0	29.0
最大瞬間風速 (m/s)	27.7	27.4	27.5	26.0	27.3
年日照時間 (h)	1877.1	1733.5	1874.7	1808.8	2138.1

令和 5 年月別値

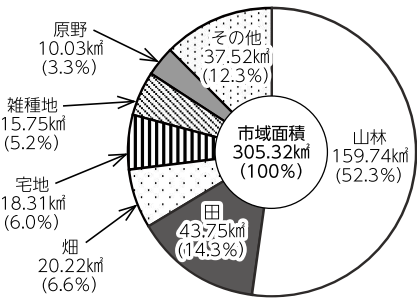
気象庁ホームページより

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温 (℃)	1.0	1.7	8.2	11.9	15.7	20.3	25.5	26.5	23.4	14.4	9.2	4.2
降水量 (mm)	16.5	22.0	73.5	87.5	119.5	237.5	122.0	121.5	163.5	81.0	78.0	26.5



地目別面積 ● ● ●

(令和 6 年 1 月現在)

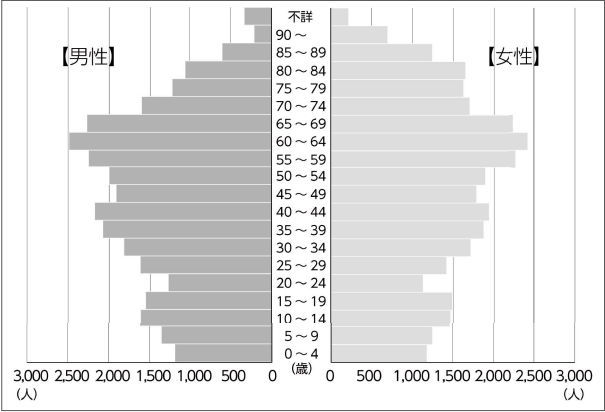


人口・世帯 ●●●

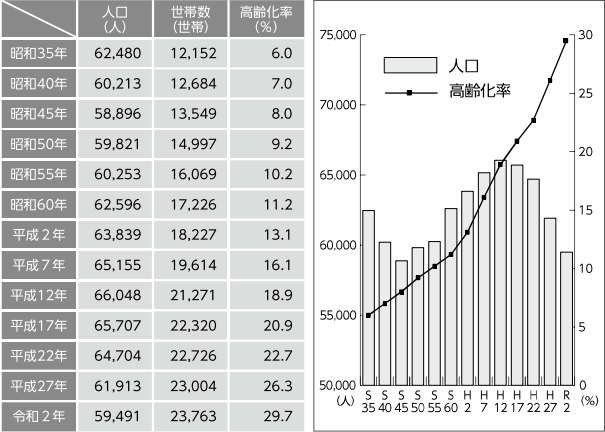
①現住人口

	人口総数（人）	世帯（世帯）
白河市	57,597	24,029
人口密度189人/km ² 1世帯あたり2.4人		

②年齢別人口（5歳階級）【国勢調査】(令和2年10月1日現在)



③人口・世帯数と高齢化率の推移【国勢調査】(各年10月1日現在)



④人口動態 (各年1月1日現在)

	自然動態			社会動態			増減
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	
平成27年	474	665	△191	2,039	2,258	△219	△410
平成28年	492	671	△179	1,895	2,236	△341	△520
平成29年	447	682	△235	1,933	2,281	△348	△583
平成30年	438	675	△237	1,981	2,276	△295	△532
令和元年	392	718	△326	2,120	2,376	△256	△582
令和2年	353	647	△294	2,009	2,154	△145	△439
令和3年	378	731	△353	1,872	2,194	△322	△675
令和4年	311	750	△439	2,078	2,326	△248	△687
令和5年	274	790	△516	2,070	2,436	△366	△882

福島県現住人口調査年報より

⑤産業別就業者【国勢調査】

		令和2年	
		就業者数(人)	構成比(%)
白河地域	第1次産業	847	3.9
	第2次産業	7,879	36.5
	第3次産業	12,537	58.1
	計	21,594	100.0
表郷地域	第1次産業	318	11.1
	第2次産業	1,162	40.7
	第3次産業	1,365	47.8
	計	2,858	100.0
大信地域	第1次産業	242	12.5
	第2次産業	824	42.7
	第3次産業	840	43.5
	計	1,932	100.0
東地域	第1次産業	399	15.2
	第2次産業	1,042	39.6
	第3次産業	1,115	42.4
	計	2,630	100.0
白河市	第1次産業	1,806	6.2
	第2次産業	10,907	37.6
	第3次産業	15,857	54.7
	合 計	29,014	100.0

※合計には分類不能の産業が含まれています

一般会計歳入歳出予算（令和6年度当初） ●●●

①歳入		(単位：千円)		
区 分		令和6年度	令和5年度	比 較
一般財源	市 税	9,009,200	9,177,136	△167,936
	地方交付税	6,879,086	6,882,236	△3,150
	臨時財政対策債	70,000	200,000	△130,000
	地方譲与税	372,460	339,537	32,923
	利子割交付金	2,338	2,776	△438
	配当割交付金	28,866	38,917	△10,051
	株式等譲渡所得割交付金	19,649	16,100	3,549
	法人事業税交付金	152,658	149,292	3,366
	地方消費税交付金	1,523,484	1,557,041	△33,557
	ゴルフ場利用税交付金	24,109	24,756	△647
	環境性能割交付金	24,839	22,891	1,948
	地方特例交付金	305,227	53,622	251,605
	交通安全対策特別交付金	5,700	6,700	△1,000
	計	18,417,616	18,471,004	△53,388
特定財源	国庫支出金	4,447,087	3,951,237	495,850
	県支出金	2,110,505	2,237,276	△126,771
	繰入金	1,873,879	1,155,589	718,290
	市 債	2,938,300	2,294,000	644,300
	分担金及び負担金	101,665	91,228	10,437
	使用料及び手数料	274,367	269,601	4,766
	財産収入	163,265	85,969	77,296
	寄附金	555,951	175,990	379,961
	繰越金	1	1	0
	諸収入	417,364	418,105	△741
	計	12,882,384	10,678,996	2,203,388
歳入合計		31,300,000	29,150,000	2,150,000
うち一般財源		18,417,616	18,471,004	△53,388
うち特定財源		12,882,384	10,678,996	2,203,388

②歳出（目的別）

(単位：千円)

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	比 較
議会費	262,926	260,439	2,487
総務費	4,927,101	2,798,658	2,128,443
民生費	9,236,198	8,785,602	450,596
衛生費	2,025,040	2,268,710	△243,670
労働費	13,948	14,016	△68
農林水産業費	1,747,602	1,910,056	△162,454
商工費	831,589	785,543	46,046
土木費	3,789,270	3,482,640	306,630
消防費	877,247	830,473	46,774
教育費	4,474,571	4,782,731	△308,160
災害復旧費	4	4	0
公債費	3,064,504	3,181,128	△116,624
予備費	50,000	50,000	0
歳出合計	31,300,000	29,150,000	2,150,000

③歳出（性質別）

(単位：千円)

区 分		令和 6 年度	令和 5 年度	比 較
義務的 経費	人件費	5,330,086	4,914,180	415,906
	扶助費	5,405,720	5,203,111	202,609
	公債費	3,092,863	3,210,562	△117,699
	計	13,828,669	13,327,853	500,816
投資的 経費	普通建設事業費	5,266,103	3,803,830	1,462,273
	災害復旧事業費	8,635	1,846	6,789
	計	5,274,738	3,805,676	1,469,062
そ の 他 の 経 費	物件費	4,551,776	4,642,274	△90,498
	維持補修費	486,049	415,732	70,317
	補助費等	4,447,304	4,354,693	92,611
	積立金	110,420	44,305	66,115
	投資及び出資金	48,927	50,440	△1,513
	貸付金	180,220	175,420	4,800
	繰出金	2,321,897	2,283,607	38,290
	予備費	50,000	50,000	0
	計	12,196,593	12,016,471	180,122
歳出合計		31,300,000	29,150,000	2,150,000

商 工 ●●●●

①商業の現況 (令和 3 年 6 月 1 日現在)

区 分	卸売業	小売業	計
商店数 (店)	115	461	576
従業員数 (人)	818	3,392	4,210
年間商品販売額 (百万円)	43,948	70,166	114,114

経済センサスー活動調査より ※四捨五入により端数が異なります

②工業の現況 (令和 3 年 6 月 1 日現在)

産業別	事業所数	従業員数	製造品出荷額等 (万円)
食 料	13	482	2,250,052
飲 料	3	25	20,963
繊 維	10	233	227,298
木 材	3	100	1,268,570
家 具	3	155	765,443
紙・パルプ	4	69	200,665
印 刷	4	53	42,437
化 学	4	593	6,231,010
プラスチック	11	446	1,604,214
ゴ ム	5	1,924	11,093,396
窯 業	8	268	675,422
鉄 鋼	4	138	641,893
非 鉄	6	308	1,629,142
金属製品	13	558	939,360
はん用機械器具	4	108	248,351
生産用機械器具	11	299	541,883
業務用機械器具	6	335	1,173,568
電子・デバイス	4	426	2,707,141
電気機械器具	10	277	406,941
情報通信機械器具	3	75	84,952
輸送用機械器具	7	315	616,596
その他	4	36	24,060
計	140	7,223	33,393,357

経済センサスー活動調査より

企業誘致 ● ● ●

①企業立地件数

年 度	立地件数	立地面積 (㎡)	業 種
平成30	3	19,457	プラスチック加工、弱電機器
令和元	2	5,468	弱電機器、建築用木製加工
令和2	0	0	
令和3	4	90,693	センサー部品加工、日用雑貨品製造、除菌剤 等
令和4	0	0	
令和5	1	24,147	石英ガラス加工
平成9年度からの累計	56	1,138,949	

※1,000㎡以上の事業用地を取得した企業数

②分譲可能な工業団地等

名 称	工業の森・新白河 (A工区)	新白河ビジネスパーク	堂山業務用団地
事業主体	福島県	福島県	白河市
所 在	豊地 外	十三原道上 外	大信増見字下川原 外
総面積 (㎡)	695,000	365,300	20,276
分譲可能面積 (㎡)	150,000	10,837	1,414
地域指定	－	－	－
立地件数 (件)	－	16	1
分譲価格	応談	15,000円/㎡	－

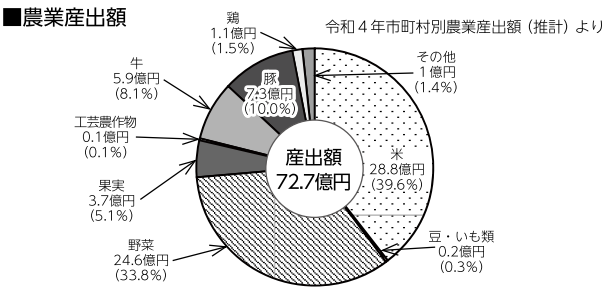
③主な企業

企業名	主要製品名
住友ゴム工業㈱ 白河工場	自動車用タイヤ
三菱ガス化学㈱	脱酸素剤・特殊フィルム・工場野菜
㈱ディーアンドエムホールディングス白河ワークス	オーディオ機器・業務用機器
㈱川金ダイカスト工業	アルミダイカスト製品
EAファーマ㈱福島事業所	医薬品製剤
パナソニックオートモーティブシステムズ㈱ 車載システムズ事業部白河工場	車載カメラ
㈱加藤螺子製作所白河工場	自動車・建設車両用ボルトナット、精密ネジ付部品
㈱光陽社	金属用研磨剤
㈱三谷精密白河工場	エアゾールバルブ部品
大盛工業白河工場㈱	自動車部品、輸送用工具
浅井ショーワ㈱	自動車部品

農 政

2020年農林業センサスより

区 分	総 数	内 訳
販売農家戸数	1,651戸	専業 272戸、兼業 1,379戸
農業就業人口（15歳以上）	2,535人	男 1,570人、女 965人
経営耕地	3,921ha	田 3,359ha、畑 420ha、樹園地 142ha



住 宅

市営住宅
戸数 968戸

市 道

実延長	路線数	舗装延長	未舗装延長	舗装率
1,014,218m	1,914	716,143m	298,075m	70.6%

都市計画

区域・地域

①都市計画区域
県南都市計画区域（白河市：25,223ha）

②風致地区 (単位：ha)

地区名	南 湖	中 央	小峰城跡	羅漢山	搦 目	計
面 積	110.0	33.2	8.6	48.3	38.5	238.6

③用途地域

地域別	面積 (ha)	構成比 (%)	建ぺい率 (%)	容積率 (%)
第1種低層住居専用	178.3	13.9	40・50	60・80
第2種中高層住居専用	2.9	0.2	60	200
第1種住居	403.8	31.4	60	200
第2種住居	96.1	7.5	60	200
近隣商業	67.5	5.2	80	200
商業	89.0	6.9	80	300・400
準工業	109.9	8.5	60	200
工業	340.0	26.4	60	200
計	1287.5	100.0		

■都市公園

種別	公園名	開設面積(ha)	主な施設
風致	南湖公園	46.16	自由広場、遊戯施設、翠楽苑、トイレ、駐車場
総合	城山公園	9.50	自由広場、小峰城歴史館、休憩所、トイレ、駐車場
街区	友月山児童公園	0.08	遊戯施設、トイレ
	双石公園	0.17	遊戯施設
	稲荷山公園	0.36	遊戯施設
	高山北公園	0.25	遊戯施設
	高山西公園	0.25	遊戯施設
	一里段公園	0.91	遊戯施設、トイレ
	その他（66公園）	4.28	
近隣	鶴子山公園	3.80	自由広場、遊戯施設、休養施設、ゲートボール場、トイレ、駐車場
	葉ノ木平震災復興記念公園	0.84	芝生広場、トイレ、防災倉庫、防災トイレ、駐車場
運動	総合運動公園	11.20	陸上競技場、多目的広場、中央体育館、市民テニスコート、プール、遊戯施設、中央花壇、トイレ、駐車場
	しらさかの森スポーツ公園	19.32	野球場、多目的広場、テニスコート、トイレ、駐車場
	表郷総合運動公園	8.89	野球場、多目的広場、体育館、ゲートボール場、多目的研修センター、イベント広場、トイレ、駐車場
	大信総合運動公園	5.88	野球場、多目的広場、テニスコート、プール、ゲートボール場、トレーニングセンター、遊戯施設、野外炊飯場、トイレ、駐車場
	東風の台運動公園	17.41	多目的広場、体育館、弓道場、テニスコート、プール、ゲートボール場、ローラースケート場、遊戯施設、キャンプ場、ハイキングコース、トイレ、駐車場
墓園	羅漢墓地	2.88	休養施設
計		132.18	

教 育 ●●●●

①専門学校

しらかわ介護福祉専門学校

②高等学校

福島県立白河高等学校

福島県立白河旭高等学校

福島県立白河実業高等学校

福島県立白河第二高等学校（夜間定時制）

③中学校

（令和6年5月1日現在）

学校名	生徒数（人）	学級数		教職員数（人）
		通 常	特別支援	
白河中央中	453	13	4	41
白河二中	465	14	4	38
東北中	116	5	1	21
白河南中	141	5	3	21
表郷中	159	6	2	25
大信中	104	4	1	16
東 中	121	5	0	21
計	1,559	52	15	183

④小学校

（令和6年5月1日現在）

学校名	児童数（人）	学級数		教職員数（人）
		通 常	特別支援	
白河一小	274	11	4	38
白河二小	507	18	5	48
白河三小	473	17	4	39
白河四小	182	6	3	21
白河五小	183	7	2	21
小田川小	56	5	1	17
五箇小	50	5	1	15
関辺小	100	6	1	16
みさか小	317	12	2	25
表郷小	278	12	3	32
大信小	132	6	2	20
小野田小	56	5	1	16
釜子小	137	6	1	19
計	2,745	116	30	327

⑤幼稚園・認定こども園 (令和6年5月1日現在)

市立（8）				私立（6）			
園 名	園児数 (人)	学級数	教員数（人）	園 名	園児数 (人)	学級数	教員数（人）
大 沼	31	3	8	白河カトリック	122	4	16
白 坂	36	3	9	丘の上	91	6	16
小田川	一時休園	—	—	ぼだい樹	17	3	17
五 箇	21	3	7	ぼだい樹西こども園	33	3	16
関 辺	30	3	9	さくらの木	17	3	14
表 郷	87	6	21	らのみな	9	3	19
大 信	57	4	15				
ひがし	74	6	16				
計	336	28	85	計	289	22	98

⑥保育園・認定こども園

区 分			定員（人）	入園児数（人） （うち3歳未満児）
市立	さくら	土・乳・障・延	90	94 (39)
	わかば	土・乳・障・延・一	150	150 (58)
	おもてごう	土・乳・障・延	65	38 (38)
	たいしん	土・乳・延	50	15 (15)
	ひがし	土・乳・延	60	47 (47)
関の森（へき地）			—	一時休園
計			415	344 (197)
白河みのり（社会福祉法人）		土・乳・障・延	89	85 (35)
白河（社会福祉法人）		土・乳・障・延	120	111 (51)
丘の上（学校法人）		土・乳・障・延	40	40 (40)
ぼだい樹（学校法人）		土・乳・障・延・一	100	80 (24)
ぼだい樹西こども園（学校法人）		土・乳・障・延	80	66 (26)
さくらの木（学校法人）		土・乳・障・延	60	51 (17)
らのみな（学校法人）		土・乳・障・延	93	86 (30)
広域入所				10（ 5）

※土：土曜日一日保育実施、乳：乳児保育実施、障：障がい児保育実施、延：延長保育実施、一：一時的保育実施

⑦放課後児童クラブ

児童クラブ名	定員 (人)	入会児童数 (人)	職員数 (人)	児童クラブ名	定員 (人)	入会児童数 (人)	職員数 (人)
白一小	99	120	7	五箇小	54	11	2
白二小	133	117	7	関辺小	64	33	3
白二小第二	60	32	3	みさか小	114	105	7
白三小	151	115	8	表郷小	119	99	7
白三小第二	37	0	0	大信小	50	31	3
白四小	86	58	4	大信小第二	36	17	2
白五小	40	41	3	小野田小	38	25	2
白五小第二	43	23	5	釜子小	80	61	3
小田川小	34	32	3	計（17か所）	1,238	920	69

水道 ●●●

■上水道

①事業内容（令和５年度）

事業創設認可	昭和26年５月19日認可（平成28年３月31日事業統合による変更認可）		
計画給水人口	60,820人		
計画最大給水量	27,080㎥／日		
給水人口	55,196人		
給水戸数	24,723戸		
年間配水量	7,150,532㎥		

②予算（令和６年度当初）

（単位：千円）

収 入		支 出	
収益的収入	1,270,254	収益的支出	1,241,078
資本的収入	400,351	資本的支出	1,122,919

■工業用水道

事業年次	平成９年度（平成９年12月26日認可）		
計画最大給水量	6,000㎥／日		
主な事業	水 源	取水ポンプ（φ125mm×５段×37kw）３基	
	送水管	DIP φ250～350mm、L=8,219.30m SUS φ350mm、L=130.40m	
	配水池	AB工区 SUS V=2,000㎥ C工区 SUS V=1,200㎥	
	配水管	DIP φ150～300mm、L=2,945.97m	

下水道 ●●●

①公共下水道の整備状況

	全体計画	事業認可計画（第６期）	供用済区域
処理面積	2,215ha	1,170ha	1,117ha
処理人口	36,770人	31,730人	31,227人
処理水量（日最大）	24,700㎥／日	24,700㎥／日	17,160㎥／日
排除方式	分流式		

②農業集落排水事業

平成25年度末までに、計画21地区すべてを整備済み。
更新計画に基づき、施設の更新工事を実施中。

③浄化槽市町村整備推進事業

令和５年度までの累計整備基数 780基

白 河

SHIRAKAWA



白河市の概要（携帯版）

（令和6年9月発行）

住所：〒961-8602 福島県白河市八幡小路7-1

電話：0248-22-1111（代表）

ホームページ：www.city.shirakawa.fukushima.jp/

e-mail：hisho@city.shirakawa.fukushima.jp